

2. 多項式時間計算量

来嶋 秀治

滋賀大学 データサイエンス学部

“Valiant計画” (since 1979)

#P困難な $A \in \mathbb{R}$ に対して, 近似解 $Z \in \mathbb{R}$ を精度

$$\Pr[(1 - \epsilon)A \leq Z \leq (1 + \epsilon)A] \geq 1 - \delta$$

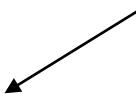
で多項式時間($\text{poly}(\text{input}, \epsilon^{-1}, \log \delta^{-1})$)で求められるか?

多項式時間(polynomial time)とは何が多項式なのか?

➡ 「演算」の回数

「計算量」(決定性 Turing machine)

通常(形容詞のない場合)は
worst case time complexityを指す



□ 計算量 = 演算回数(有限回に限る)

- 読み込み, 書き出し, 代入, 比較: $O(\text{桁数})$
- 四則演算(+, -, ×, /) $O(\text{桁数}) \sim O(\text{桁数}^2)$
- 論理演算($\neg, \wedge, \vee, \Rightarrow$) $O(1)$ /1演算
- 繰り返し(for, while)は繰り返し中の演算の総数
- 「パラメータ」
 - 固定(定数)なら $O(1)$
 - 可変なら四則演算に準ずる
- 「関数(ライブラリ)」
 - 計算量が解明されていれば, それに準拠
 - オラクル計算量では, 通常の演算数とは別に数える

「計算」を掘り下げる

若干(?) 嘘を含むので注意

Turing machine

□ できること

- 有理数の四則演算
- 論理演算 ($\Rightarrow, \wedge, \vee, \neg, \top, \perp$; 例: $1 \vee 0 = 1, 1 \wedge 0 = \perp$)
- 受理、非受理の判定 (If文)
- 大きな数が数えられる (=メモリがある: While文、For文)
- 配列

□ できないこと

- 実数 (無理数一般) の計算 (二次方程式の解の公式とか)
- 「難しい」関数の計算: $\sin, \cos, \tan, \exp, \log$, etc.
- 微分、積分 (一般に)
- 二階述語論理 (停止性問題)

➤ 何をどこまで計算可能か都度確認。

Pythonではmathをimportしてexp(x)は計算できる!?

$$\exp(3) \simeq 2.718 * 2.718 * 2.718$$

$$\exp(1.5) \simeq \sqrt{2.718 * 2.718 * 2.718} \quad (\text{開平方})$$

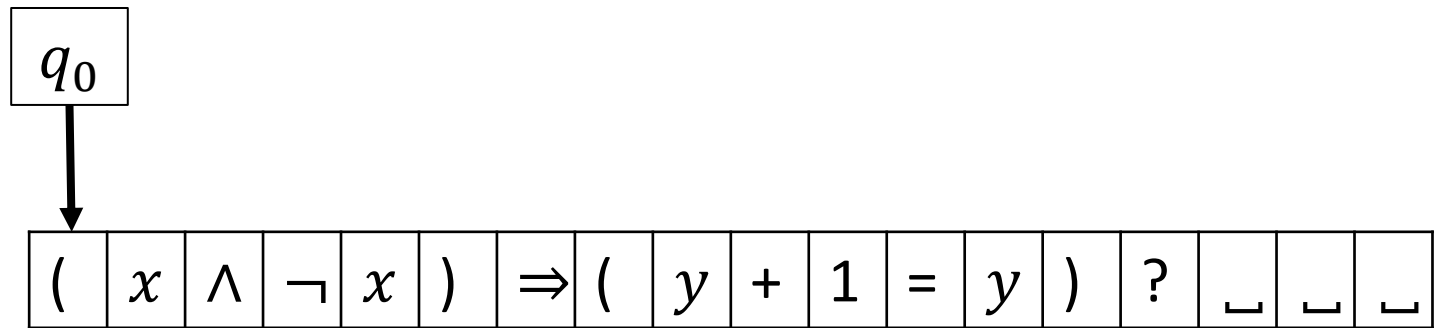
$$\exp(1.7) \simeq \sqrt[10]{\left(\left((2.718^2)^2\right)^2\right)^2 * 2.718}$$

$$\exp(x) = 1 + \frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{3!}x^3 + \dots$$

「計算」を掘り下げる

- **計算 = accept-rejectの決定**
- 入力 = 文字列
- なぜ「多項式」時間？
 - 等価性、帰着

計算機科学における計算: Turing machine



Turing machine

- headerとtapeで構成された機械
 - 決められた規則に従って動作する
- headerは有限個の演算規則集 (有限オートマトン)
- tapeはメモリ
 - 文字を読んだり書いたり(書き換えたり) できる. 長さに上限がない
- 文字は有限種類
- 最終的に, **accept(正しい)** or **reject(間違い)**を判断して**停止**
 - 判断できない計算問題が存在する (Turingの停止問題)

計算機科学の歴史 (NP以前)

1874, Cantor, $\aleph^n \neq 2^\aleph$, 対角線論法

1900, Hilbert, 算術の無矛盾性 (23問題)

1931, Gödel, 不完全性定理

1936, Turing, Turing機械 + 停止問題

1936, Church, ラムダ計算

1945, von Neumann, ノイマン型コンピュータ(ENIAC)

1956, Kleene, regular language = finite automaton判定

1956, Chomsky, Chomsky階層

1971, Cook, NP完全の提案

Turing machineの先祖は論理学

Hilbert計画(1900)

数学が正しいことを証明せよ

- 形式証明: 論理演算規則による変形

(例) 命題: $\forall x, \forall y, [\text{even}(x) \wedge \neg \text{even}(y) \rightarrow \text{even}(x + y)]$ (偶数+奇数=偶数)

証明:

$$\text{even}(x) \Rightarrow \exists a(x = 2a)$$

$$\neg \text{even}(y) \Rightarrow \exists b(y = 2b + 1)$$

$$(x = 2a) \wedge (y = 2b + 1) \Rightarrow (x + y = 2(a + b) + 1)$$

$$\exists c(x + y = 2c + 1) \Rightarrow \neg \text{even}(x + y)$$

$$\neg \text{even}(x + y) \wedge \text{even}(x + y) = \perp$$

- 証明できればaccept (=定理), 矛盾が出ればreject

Gödel(1931):

証明とは数字(Gödel数)の計算である。計算できない命題が存在する。

計算機科学(Turing(1936), Kleene(1956), Chomsky(1956), ...?):

計算とは文字列のaccept-rejectの決定である。決定できない文字列が存在する。

「計算」を掘り下げる

- 計算 = accept-rejectの決定
- **入力 = 文字列**
- なぜ「多項式」時間？
 - 等価性、帰着

言語の認識

- Σ : 文字の集合(alphabet)
- Σ^k : 長さ k の文字列の集合. $\Sigma^* = \bigcup_{k=0}^{\infty} \Sigma^k$
- $\mathcal{L} \subseteq \Sigma^*$: 言語(language)
- $w \in \mathcal{L}$: 語(word)
- $w \in \mathcal{L}$ をacceptし, $w \notin \mathcal{L}$ をrejectできることをrecognitionという.

定理 (Kleene 1956)

正規言語であることの必要十分条件は**有限オートマトン**でrecognizeできる言語

$\Sigma = \{0,1\}$ とする.

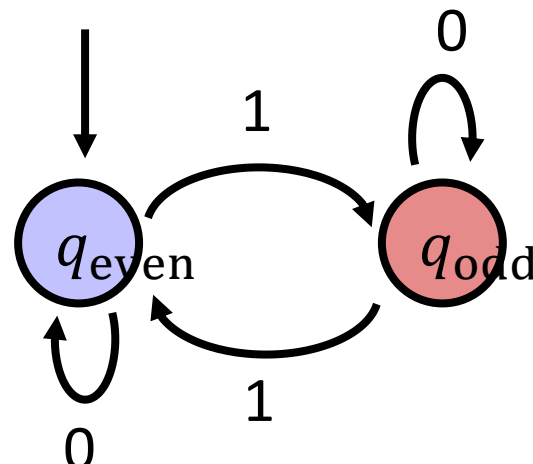
□ 正規言語の例

- $\{w \mid w \text{の最初と最後は同じ文字}\} = 0\Sigma^*0 \cup 1\Sigma^*1 \cup 0 \cup 1$
- $\{w \mid w \text{の長さは3の倍数}\} = (\Sigma\Sigma\Sigma)^*$
- $\{w \mid w \text{は1を偶数個もつ}\}$

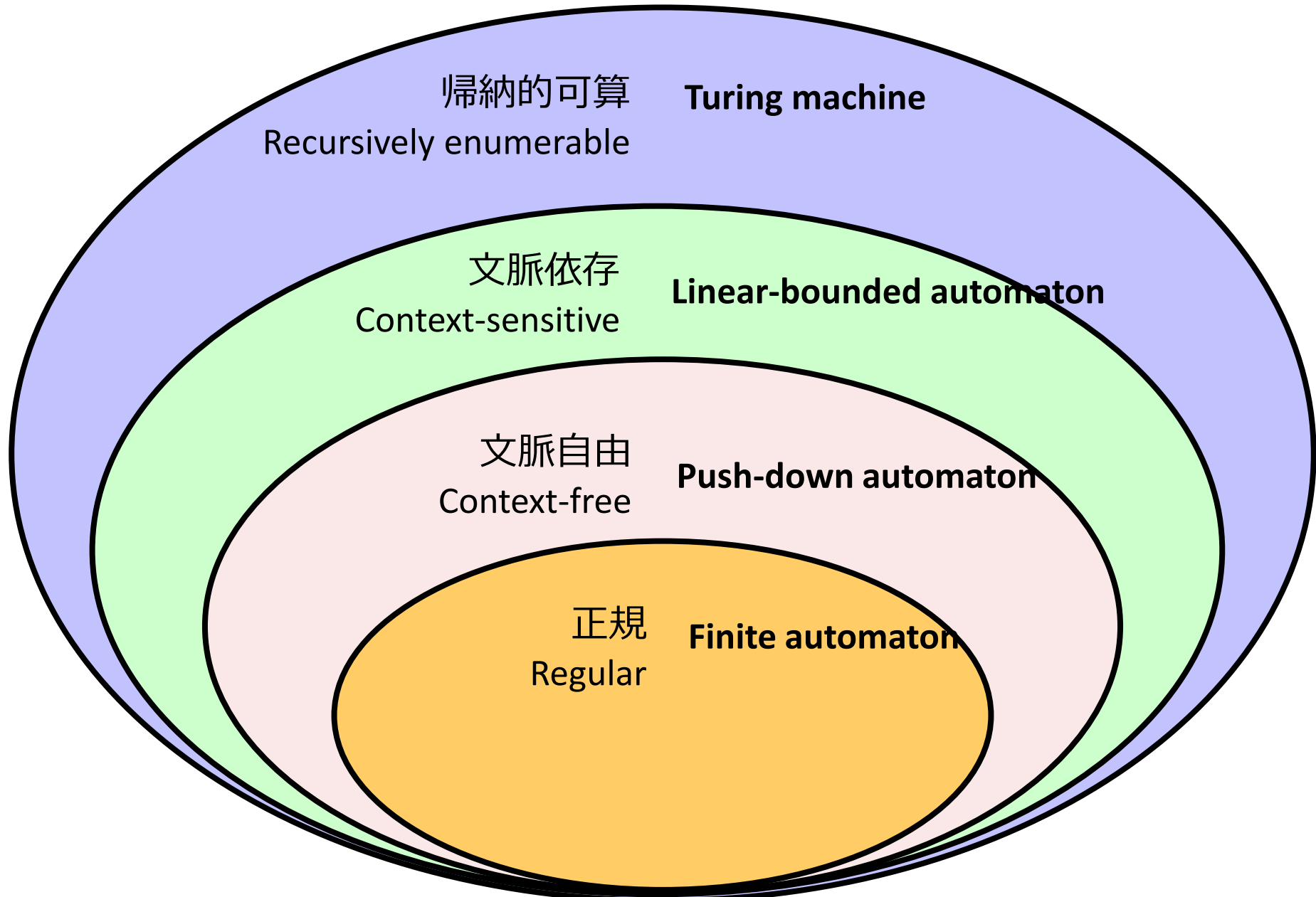
□ 正規言語でない例

- $\{0^n 1^n \mid n \geq 0\}$
- $\{w \mid w \text{は0と1を同数もつ}\}$

有限オートマトンは
大きな数を数えられない



Chomsky hierarchy



決定問題(decision problem)

例1. グラフ3彩色

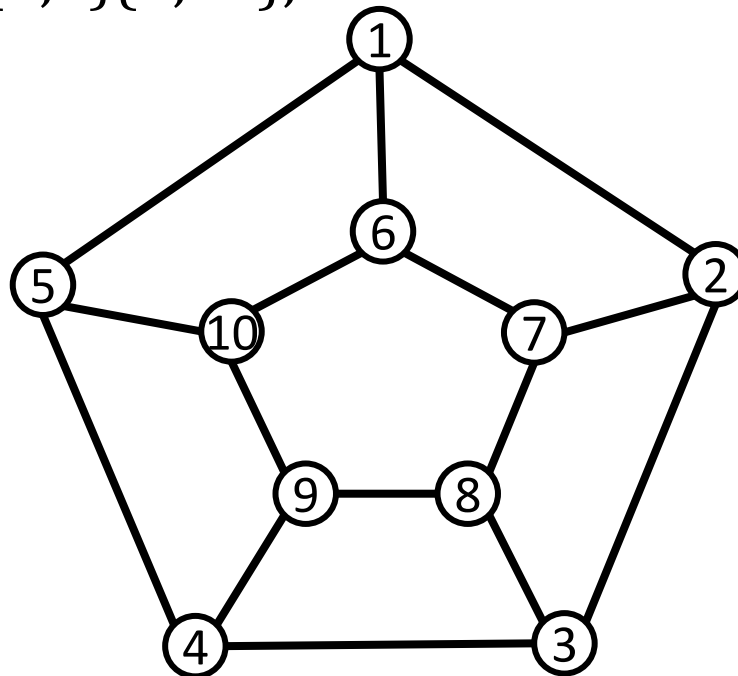
入力: $G = (V, E)$

問題: G は3色で塗り分けられるか？

$\mathcal{L} \subseteq \Sigma^* = \{0, \dots, 9, \{, \}, \dots, :, ;\}$: グラフ3彩色言語

$w = 10: \{1,2\}\{1,5\}\{1,6\}\{2,3\}\{2,7\}\{3,4\}\{3,8\}\{4,5\}\{4,9\}\{5,10\}$
 $\{6,7\}\{6,10\}\{7,8\}\{8,9\}\{9,10\};$

$w \in \mathcal{L}$



決定問題(decision problem)

例1. グラフ3彩色

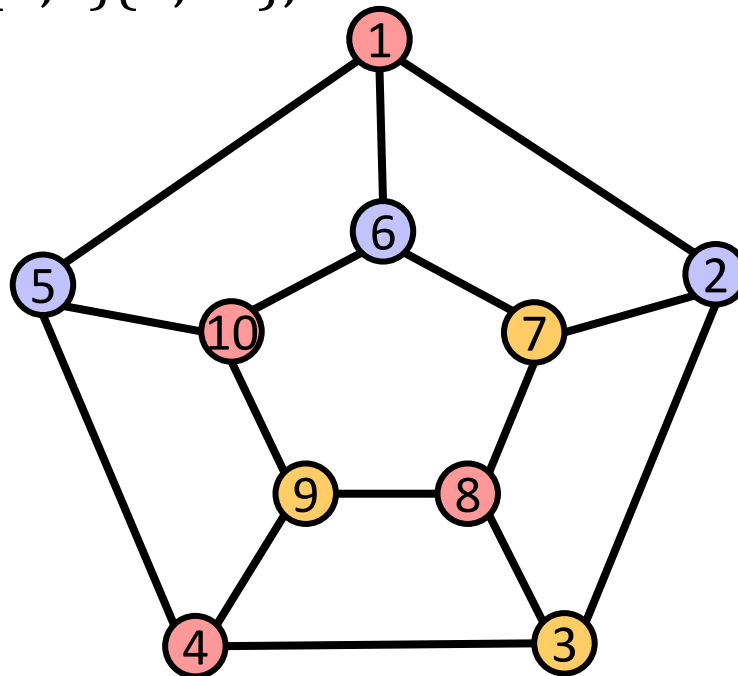
入力: $G = (V, E)$

問題: G は3色で塗り分けられるか？

$\mathcal{L} \subseteq \Sigma^* = \{0, \dots, 9, \{, \}, \dots, :, ;\}$: グラフ3彩色言語

$w = 10: \{1,2\}\{1,5\}\{1,6\}\{2,3\}\{2,7\}\{3,4\}\{3,8\}\{4,5\}\{4,9\}\{5,10\}$
 $\{6,7\}\{6,10\}\{7,8\}\{8,9\}\{9,10\};$

$w \in \mathcal{L}$



決定問題(decision problem)

例1. グラフ3彩色

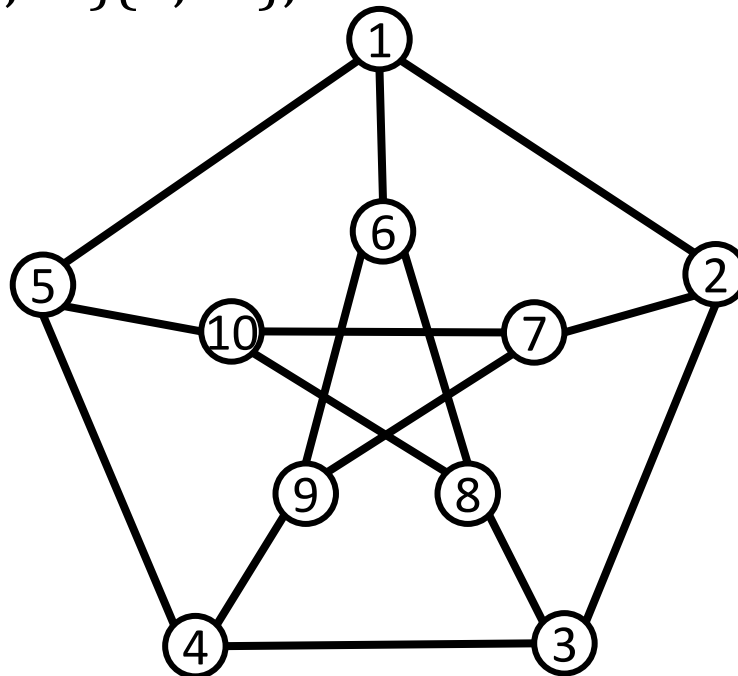
入力: $G = (V, E)$

問題: G は3色で塗り分けられるか？

$\mathcal{L} \subseteq \Sigma^* = \{0, \dots, 9, \{, \}, \dots, :, ;\}$: グラフ3彩色言語

$w = 10: \{1,2\}\{1,5\}\{1,6\}\{2,3\}\{2,7\}\{3,4\}\{3,8\}\{4,5\}\{4,9\}\{5,10\}$
 $\{6,8\}\{6,9\}\{7,9\}\{7,10\}\{8,10\};$

$w \notin \mathcal{L}$



例2. Partition (cf. 0-1ナップサック問題)

入力: 整数 $z_1, z_2, \dots, z_n; k$.

問題: 合計が k となる組合せは存在するか？

例: 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19; 38.

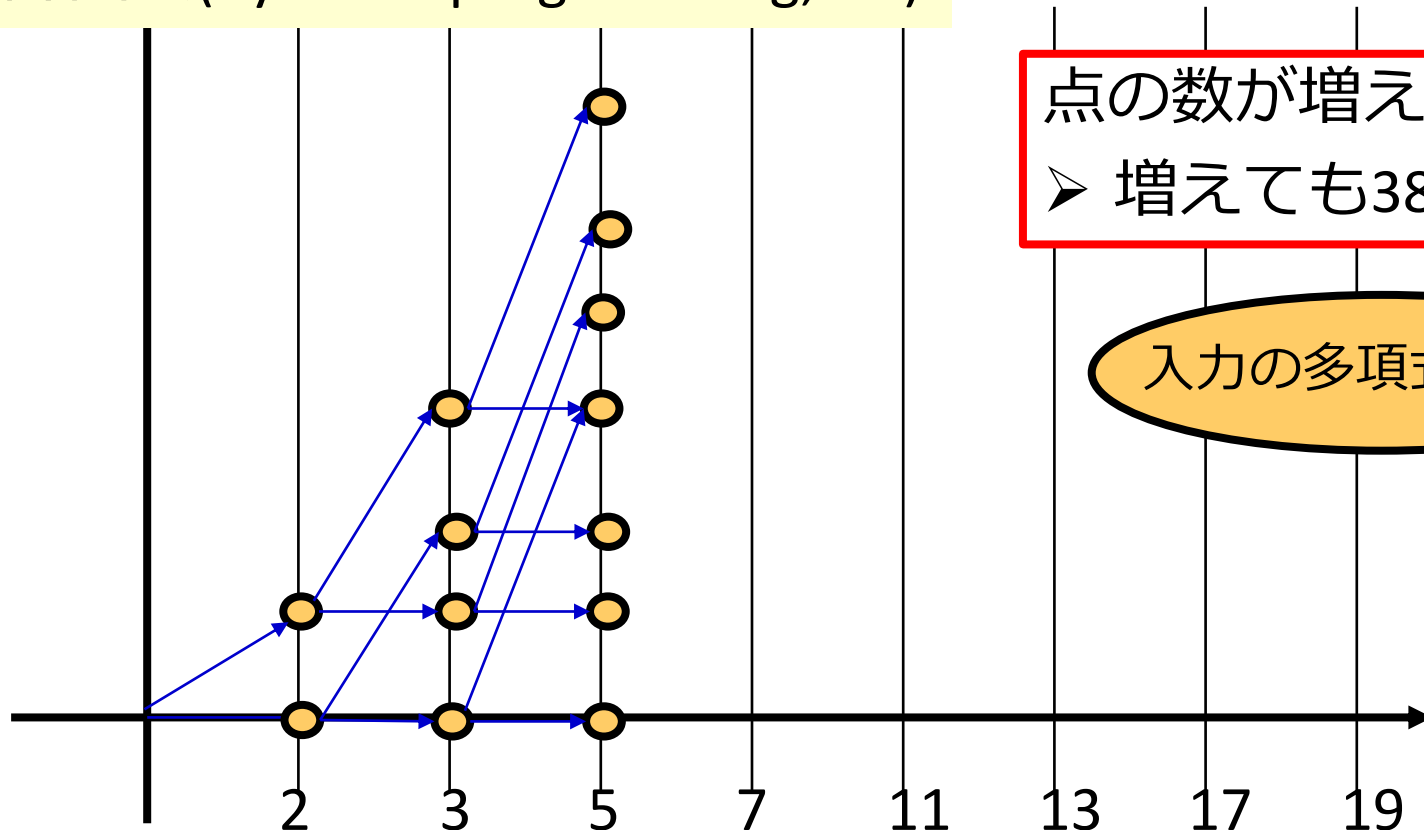
例2. Partition (cf. 0-1ナップサック問題)

入力: 整数 $z_1, z_2, \dots, z_n; k$

問題: 合計が k となる組合せは存在するか?

例: 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19; 38.

動的計画法(dynamic programming; DP)



点の数が増える?

➤ 増えても38まで.

入力の多項式時間?

例2. Partition (cf. 0-1ナップサック問題)

入力: 整数 $z_1, z_2, \dots, z_n; k$

問題: 合計が k となる組合せは存在するか？

例: 271, 314, 141, 200, 223, 264, 316, 331; 1008.

動的計画法(dynamic programming; DP)

点の数が増える？

➤ 増えても1008まで.

入力の多項式時間？

$$271+200+223+314$$

例2. Partition (cf. 0-1ナップサック問題)

入力: 整数 $z_1, z_2, \dots, z_n; k$

問題: 合計が k となる組合せは存在するか？

例,

27493847264785763747,
11048534940392845843,
24349209340394059321,
14330594095049538497,
19134704294349044340,
19417344368134910019,
22233434958080520924,
17000000000000000000;
74076491623349079329.

点の数が増える？

➤ 増えても74076491623349079329まで.

入力の多項式時間？

入力サイズは桁数で数える.

数え上げ問題 [Valiant 79]

決定問題の特に計算量の議論は多分に組合せ論的である.

- たとえばNP完全問題の難しさは, 膨大な組合せの中から条件に合う解を見つける難しさに起因する.

組合せ論の興味を中心は, ずばり, 組合せの個数である.

決定問題の解の個数は数えられるのであろうか?

$w \in \mathcal{L}$ に対し,
 $\mathcal{C}(w) \subseteq \Sigma^*$
を w の“解”の集合とする.

計算量理論の枠組みでは
Certificateとかwitness
と呼ばれる.

Q. $w \in \mathcal{L}$ が与えられた時, $|\mathcal{C}(w)|$ を求めよ.

数え上げ問題 (counting problem)

例1. グラフ3彩色

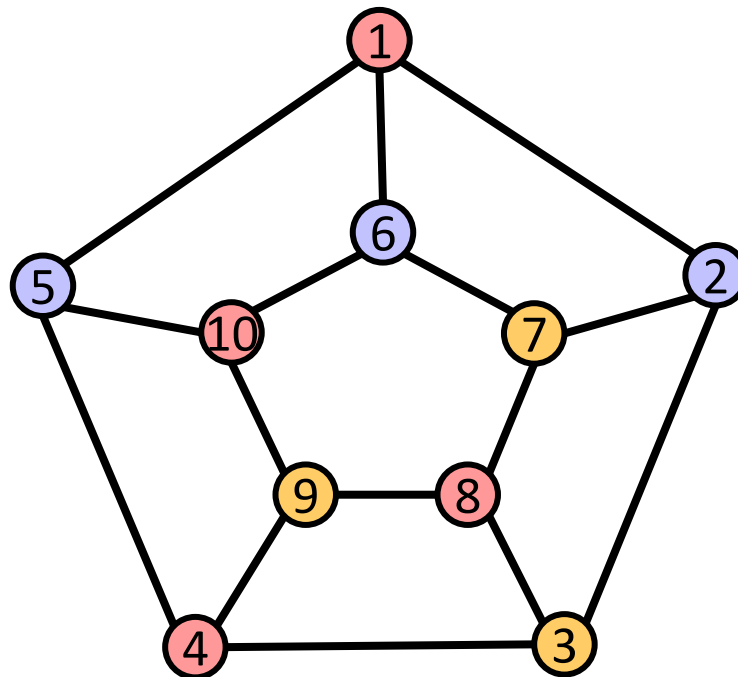
入力: $G = (V, E)$

問題: G は3色で塗り分けられるか？

$$\mathcal{C}(w) \subseteq \{r, b, y\}^{10}$$

$$rbyrbbyryrc \in \mathcal{C}(w)$$

計算量理論の枠組みでは
Certificateとかwitness
と呼ばれる。



数え上げ問題 (counting problem)

例1. グラフ3彩色

入力: $G = (V, E)$

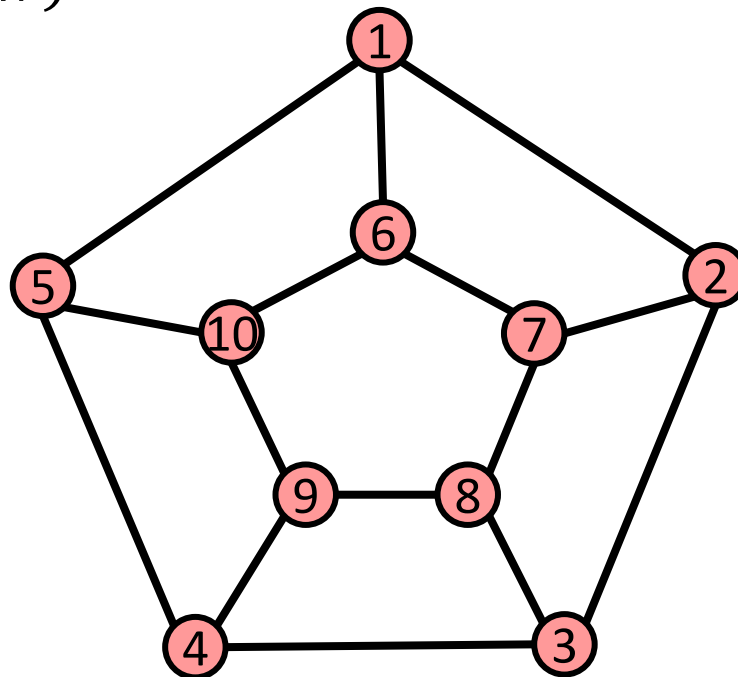
問題: G は3色で塗り分けられるか？

$$\mathcal{C}(w) \subseteq \{r, b, y\}^{10}$$

$$rbyrbbyryrc \in \mathcal{C}(w)$$

$$rrrrrrrrrrrr \notin \mathcal{C}(w)$$

計算量理論の枠組みでは
Certificateとかwitness
と呼ばれる。



計算機科学のMCMC法

計算量クラス #P [Valiant '79]

$\mathcal{L}$ がNPに属するとき, $w \in \mathcal{L}$ に対し,
 $\mathcal{C}(w) \subseteq \Sigma^*$ を w のcertificateの集合とする.
 $|\mathcal{C}(w)|$ を求める問題のクラスを#Pと呼ぶ.

1998年Gödel prize

Cf. 定理 [戸田1991]

$$P^{\#P} = PH$$

“Valiant計画” (since 1979)

#P問題 $|\mathcal{C}(w)| \in \mathbb{R}$ に対して, 近似解 $Z \in \mathbb{R}$ を精度

$$\Pr[(1 - \epsilon)|\mathcal{C}(w)| \leq Z \leq (1 + \epsilon)|\mathcal{C}(w)|] \geq 1 - \delta$$

で多項式時間($\text{poly}(\text{input}, \epsilon^{-1}, \log \delta^{-1})$)で求められるか?

Fully Polynomial-time Randomized Approximation Scheme (FPRAS)

$A \in \mathbb{R}$ に対して, 近似解 $Z \in \mathbb{R}$ を精度

$$\Pr[(1 - \epsilon)A \leq Z \leq (1 + \epsilon)A] \geq 1 - \delta$$

で多項式時間($\text{poly}(\text{input}, \epsilon^{-1}, \log \delta^{-1})$)で求めるアルゴリズム.

「計算」を掘り下げる

■ 計算 = accept-rejectの決定

■ 入力 = 文字列

□ **なぜ「多項式」時間？**

➤ 等価性、帰着

P ≠ NP予想

「言語 $\mathcal{L}$ が**非**決定性Turing機械で多項式**時間**で判定可能
⇒ 言語 $\mathcal{L}$ は決定性Turing機械で多項式**時間**で判定可能」

(⇐は定義から導かれる)

Cf. Savitchの定理

「言語 $\mathcal{L}$ が**非**決定性Turing機械で多項式**領域**で判定可能
⇒ 言語 $\mathcal{L}$ は決定性Turing機械で多項式**領域**で判定可能」

(⇐は定義から導かれる)

そもそも、Turing machineにはたくさん種類がある

- ◆ 有限オートマトン
- ◆ プッシュダウンオートマトン
- ◆ 2スタックプッシュダウンオートマトン
- ◆ 決定性Turing machine
 - 1テープ1ヘッド
 - 多テープマシン
 - 多ヘッドマシン
 - 万能Turing machine
- ◆ 非決定性Turing machine
- ◆ オラクルTuring machine
- ◆ 確率的Turing machine

- 1回の演算にかかる時間が異なる.
 - 例: n 桁+ m 桁
 - 1テープ1ヘッドだと $O((n+m)^2)$
 - 多ヘッドだと $O(n+m)$
- 「多項式」のくくりにするるとどの決定性TMでも等価.

Cf. Cantorの定理 $\aleph^n \neq 2^\aleph$

等価性

Reduction (還元, 帰着) : simulateできるか？

□ 計算可能性の等価性

- Turing完全
 - 例: 2-stack push-down automaton

□ 多項式領域計算量の等価性

- PSPACE完全
- NL完全
- Cf. Savitchの補題 : $\text{NSPACE}(f(n)) \subseteq \text{SPACE}(f(n)^2)$

□ 多項式時間計算量の等価性

- NP完全
- P完全

本講義の計算機モデル

非決定性Turing machineとは異なる
(cf. $RP \neq NP$ 予想)

□ 確率的Turing machine

- 決定性Turing machine + random **bit** (0 or 1)生成
 - n bits生成は $O(n)$ 時間
 - $[0,1]$ 実数乱数は生成できない

けっこう不便. たとえば,

命題

確率的Turing Machineでは「確率 $1/3$ 」を有限時間停止では実現不可能.

命題

確率的Turing Machineでは「確率 $1/3$ 」を $O(1)$ 期待時間で実現不可能.

このくらいの精度で議論を進める.

まとめ

Turing machine

□ できること

- 有理数の四則演算
- 論理演算 ($\Rightarrow, \wedge, \vee, \neg, \top, \perp$; 例: $1 \vee 0 = 1, 1 \wedge 0 = \perp$)
- 受理、非受理の判定 (If文)
- 大きな数が数えられる (=メモリがある: While文、For文)
- 配列

□ できないこと

- 実数 (無理数一般) の計算 (二次方程式の解の公式とか)
- 「難しい」関数の計算: $\sin, \cos, \tan, \exp, \log$, etc.
- 微分、積分 (一般に)
- 二階述語論理 (停止性問題)

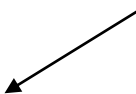
➤ 何をどこまで計算可能か都度確認。

四則演算の計算量

- 整数 x はおよそ $\log x$ 桁
- p 桁と q 桁の和は $\max\{p, q\} + 1$ 桁以下
 - 計算時間もそれくらい
- p 桁 $-q$ 桁は符号込みで $\max\{p, q\} + 2$ 桁以下
 - 計算時間もそれくらい
- p 桁と q 桁の積は $n + m$ 桁以下
 - 計算時間もまあそれくらい
- 有理数 $\frac{x}{y}$ は $n + m$ 桁以下
 - 整数のペア (x, y) として表される (分数)

「計算量」(決定性 Turing machine)

通常(形容詞のない場合)は
worst case time complexityを指す



□ 計算量 = 演算回数(有限回に限る)

- 読み込み, 書き出し, 代入, 比較: $O(\text{桁数})$
- 四則演算(+, -, ×, /) $O(\text{桁数}) \sim O(\text{桁数}^2)$
- 論理演算($\neg, \wedge, \vee, \Rightarrow$) $O(1)$ /1演算
- 繰り返し(for, while)は繰り返し中の演算の総数
- 「パラメータ」
 - 固定(定数)なら $O(1)$
 - 可変なら四則演算に準ずる
- 「関数(ライブラリ)」
 - 計算量が解明されていれば, それに準拠
 - オラクル計算量では, 通常の演算数とは別に数える

計算機科学のMCMC法

計算量クラス #P [Valiant '79]

$\mathcal{L}$ がNPに属するとき, $w \in \mathcal{L}$ に対し,
 $\mathcal{C}(w) \subseteq \Sigma^*$ を w のcertificateの集合とする.
 $|\mathcal{C}(w)|$ を求める問題のクラスを#Pと呼ぶ.

1998年Gödel prize

Cf. 定理 [戸田1991]

$$P^{\#P} = PH$$

“Valiant計画” (since 1979)

#P問題 $|\mathcal{C}(w)| \in \mathbb{R}$ に対して, 近似解 $Z \in \mathbb{R}$ を精度

$$\Pr[(1 - \epsilon)|\mathcal{C}(w)| \leq Z \leq (1 + \epsilon)|\mathcal{C}(w)|] \geq 1 - \delta$$

で多項式時間($\text{poly}(\text{input}, \epsilon^{-1}, \log \delta^{-1})$)で求められるか?

Fully Polynomial-time Randomized Approximation Scheme (FPRAS)

$A \in \mathbb{R}$ に対して, 近似解 $Z \in \mathbb{R}$ を精度

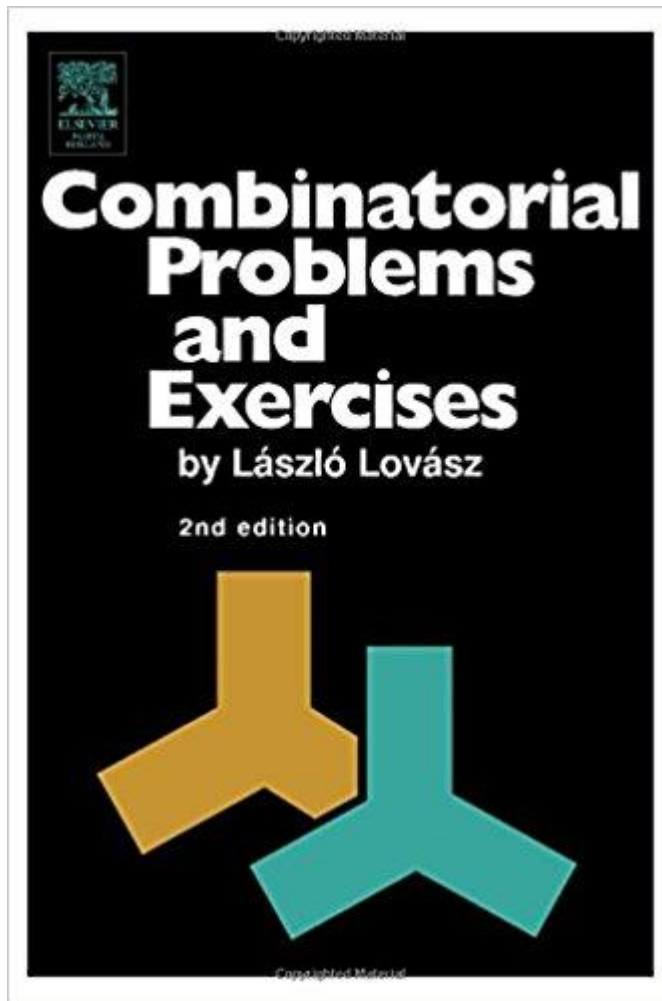
$$\Pr[(1 - \epsilon)A \leq Z \leq (1 + \epsilon)A] \geq 1 - \delta$$

で多項式時間($\text{poly}(\text{input}, \epsilon^{-1}, \log \delta^{-1})$)で求めるアルゴリズム.

次の時間の導入

組合せの数

Counting is a foundation of Combinatorics



Combinatorial Problems and Exercise [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

1. In a shop there are k kinds of postcards. We want to send postcards to n friends.

(i) How many different ways can this be done?



(ii) What happens if we want to send them different cards?



(iii) What happens if we want to send two different cards to each of them (but different persons may get the same card)?



Combinatorial Problems and Exercise [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

1. In a shop there are k kinds of postcards. We want to send postcards to n friends.

(i) How many different ways can this be done?

➤ k^n

(ii) What happens if we want to send them different cards?

➤

(iii) What happens if we want to send two different cards to each of them (but different persons may get the same card)?

➤

Combinatorial Problems and Exercise [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

1. In a shop there are k kinds of postcards. We want to send postcards to n friends.

(i) How many different ways can this be done?

➤ k^n

(ii) What happens if we want to send them different cards?

➤ $\frac{k!}{(k-n)!}$ (which is 0 if $n > k$)

(iii) What happens if we want to send two different cards to each of them (but different persons may get the same card)?



Combinatorial Problems and Exercise [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

1. In a shop there are k kinds of postcards. We want to send postcards to n friends.

(i) How many different ways can this be done?

➤ k^n

(ii) What happens if we want to send them different cards?

➤ $\frac{k!}{(k-n)!}$ (which is 0 if $n > k$)

(iii) What happens if we want to send two different cards to each of them (but different persons may get the same card)?

➤ $\binom{k}{2}^n$

Combinatorial Problems and Exercise [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

2. We have k distinct post cards and want to send them all to our n friends (a friend can get any number of post cards, including 0).

(i) How many ways can this be done?



(ii) What happens if we want to send at least one card to each friend?



Combinatorial Problems and Exercise [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

2. We have k distinct post cards and want to send them all to our n friends (a friend can get any number of post cards, including 0).

(i) How many ways can this be done?

➤ n^k

(ii) What happens if we want to send at least one card to each friend?

➤

Combinatorial Problems and Exercise [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

2. We have k distinct post cards and want to send them all to our n friends (a friend can get any number of post cards, including 0).

(i) How many ways can this be done?

➤ n^k

(ii) What happens if we want to send at least one card to each friend?

➤ $n! \cdot \left\{ \begin{matrix} k \\ n \end{matrix} \right\}$

Stirling number of the second kind $\left\{ \begin{matrix} k \\ n \end{matrix} \right\}$ counts the number of ways to partition a set of k elements into n **nonempty** subsets.

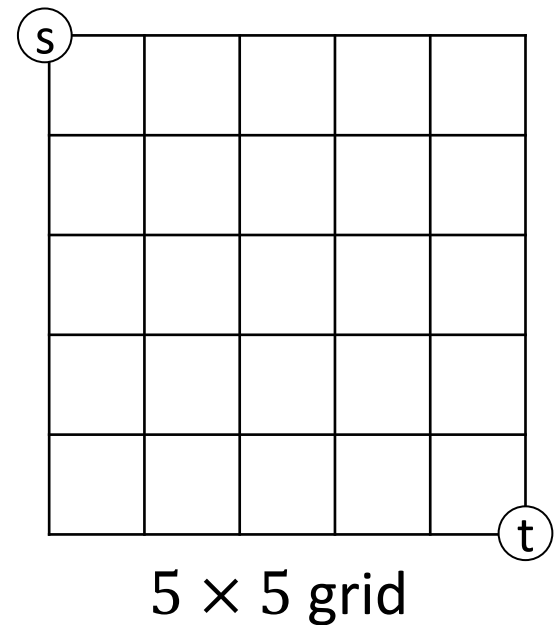
$$\left\{ \begin{matrix} k \\ n \end{matrix} \right\} = \left\{ \begin{matrix} k-1 \\ n-1 \end{matrix} \right\} + n \left\{ \begin{matrix} k-1 \\ n \end{matrix} \right\}$$

holds. [Wikipedia “Stirling number”]

Another interesting counting problem in [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

32. How many shortest paths from s to t in the $n \times n$ grid?

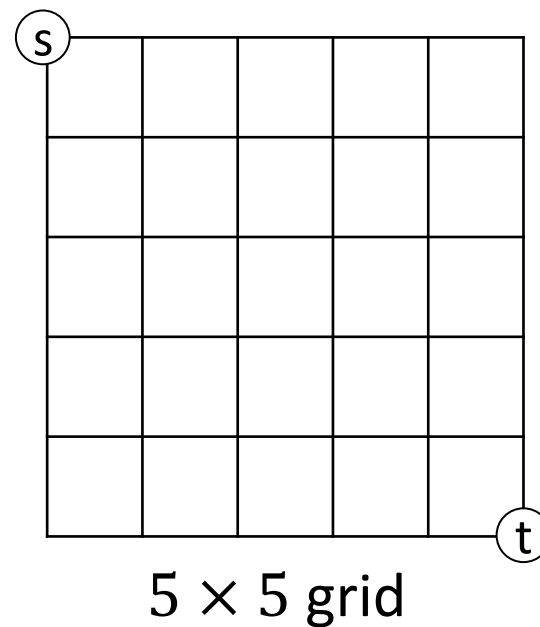


Another interesting counting problem in [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

32. How many shortest paths from s to t in the $n \times n$ grid?

➤ $\binom{2n}{n}$



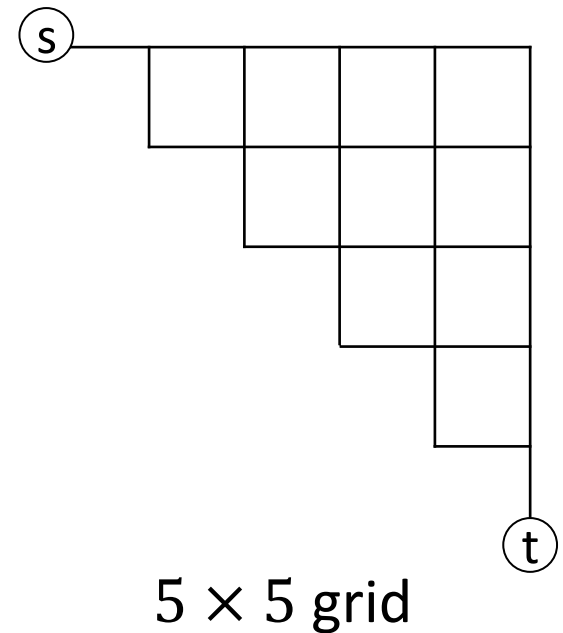
Another interesting counting problem in [Lovasz 1979]

§1. Basic Enumeration

32. How many shortest paths from s to t in the $n \times n$ grid?

➤ $\binom{2n}{n}$

33. How many shortest paths from s to t in the $n \times n$ grid upper than diagonal?



Another interesting counting problem in [Lovasz 1979]

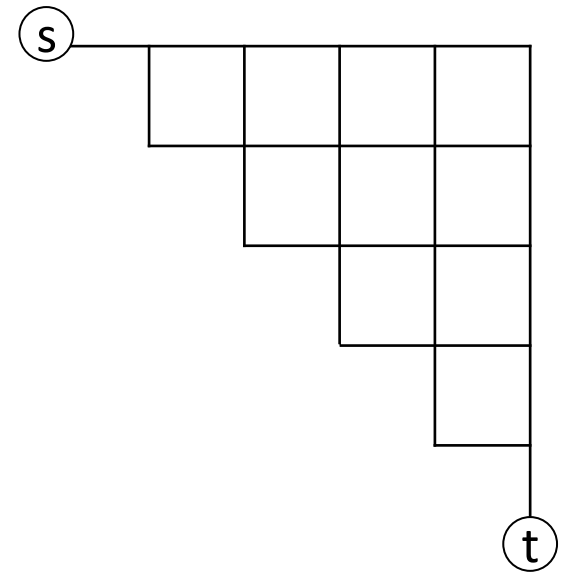
§1. Basic Enumeration

32. How many shortest paths from s to t in the $n \times n$ grid?

➤ $\binom{2n}{n}$

33. How many shortest paths from s to t in the $n \times n$ grid upper than diagonal?

➤ $\binom{2n}{n} - \binom{2n}{n-1} = \frac{2n!}{n!(n+1)!}$ (Catalan number)



5 × 5 grid

Counting is a foundation of Combinatorics

#permutations of n elements is $n!$

k combinations of n elements is $\binom{n}{k} = \frac{n!}{(n-k)!k!}$

#Dyck path = #binary trees = #proper parentheses = ...

is known as **Catalan number** $= \binom{2n}{n} - \binom{2n}{n-1} = \frac{2n!}{n!(n+1)!}$

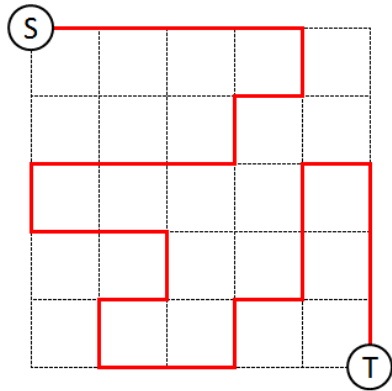
spanning trees $\Rightarrow$ **Matrix tree theorem**

Many known formula for counting combinatorial objects
(while some of them do not have an “explicit form”
...such as Stirling number)

... And, many more combinatorial objects
for which efficient way to count is not known.

おねえさん問題

$n \times n$ 格子グラフ上で, 左上(s)から右下(t)を結ぶ,
 s - t 単純経路の総数を求めよ.



組み合わせの数え方
How to count combinations

画像引用 : 日本科学未来館, 『フカシギの数え方』 おねえさんといっしょ !
みんなで数えてみよう ! , YouTube, 2012/9/10公開,
<https://www.youtube.com/watch?v=Q4gTV4r0zRs>

おねえさん問題 youtube

search

01

12

212

3184

48512

51262816

6575780564

7789360053252

83266598486981642

941044208702632496804

101568758030464750013214100

11182413291514248049241470885236

1264528039343270018963357185158482118

1369450664761521361664274701548907358996488

14227449714676812739631826459327989863387613323440

152266745568862672746374567396713098934866324885408319028

166874544560914993158763132489232824587945968099457285419306

176344814611237963971310297540795524404944398866480693646369387855336

181782112840842065129893384946652325275167838065704767655931452474605826692782532

1915233449717048799930807428103192969089945425553232329455577602986673735506059287756925844

20396289219982303756020729951713362502106339705739463771515237113377010682364035706704472064940398

2131374751050137102720420538137382214513103312193698723653061351991346433379389385793965576992246021316463868

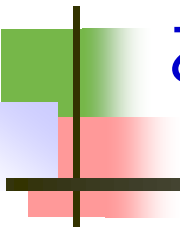
22755970286667345339661519123315222619353103732072409481167391410479517925792743631234987038883317634987271171404439792

23554354293552374770099143184890614379306903799709643313325569586464840084073348855445663869240208757112420600854085134829333945720

2412371712321207064758338744862673570832373041989012943539678727080484951695515930485641394550792153037191858028212512280926600304581386791094

25840297485788113347100708374543680912729605429377538354982474262393702849789821525692917857708397096012625602506027316549718402106494049978375604247408

261736993158627927293117544042123649890037222958828814060466370372091034241327613476278921819349800610708296223143380491348290026771931129627708738890853908108906396



おわり
